

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	部門
問題番号	H24_I-14	選択科目	科目
答案使用枚数	1 枚目 枚中	専門とする事項	

○受験番号，答案使用枚数，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

1	.	ユ	ニ	ツ	ト	プ	ラ	イ	ス	型	積	算	方	式	の	概	要								
1)	概	要																						
	ユ	ニ	ツ	ト	プ	ラ	イ	ス	型	積	算	方	式	は	、	平	成	16	年	度	後	半			
か	ら	国	交	省	工	事	で	試	行	さ	れ	て	い	る	工	事	費	積	算	方	式	で	あ		
る	。																								
	積	上	げ	積	算	方	式	は	、	資	機	材	取	引	価	格	調	査	に	よ	り	、	資		
材	価	格	と	労	務	単	価	を	決	定	し	、	想	定	す	る	施	工	手	順	、	方	法	、	
作	業	内	容	ご	と	に	価	格	を	積	み	上	げ	、	諸	経	費	を	合	算	し	工	事		
価	格	を	算	出	す	る	。																		
	こ	れ	に	対	し	、	ユ	ニ	ツ	ト	プ	ラ	イ	ス	型	積	算	方	式	は	、	発	注		
者	と	元	請	け	業	者	間	の	合	意	単	価	を	DB	化	し	蓄	積	分	析	し	た			
「	ユ	ニ	ツ	ト	単	価	」	に	よ	る	積	算	方	式	で	あ	る	。	ユ	ニ	ツ	ト	プ		
ラ	イ	ス	に	は	共	通	仮	設	費	・	現	場	管	理	費	の	諸	経	費	を	含	む	。		
2)	ユ	ニ	ツ	ト	プ	ラ	イ	ス	積	算	方	式	の	特	徴									
①	契	約	実	績	に	基	づ	く	た	め	、	積	上	げ	方	式	に	比	べ	、	価	格	の		
透	明	性	・	説	明	生	が	向	上	す	る	。													
②	積	上	げ	方	式	の	よ	う	に	施	工	プ	ロ	セ	ス	を	詳	細	に	示	す	必	要		
が	な	く	、	施	工	者	に	よ	る	創	意	工	夫	が	導	入	さ	れ	や	す	い	。	性		
能	規	定	発	注	へ	の	移	行	も	容	易	で	あ	る	。										
③	諸	経	費	を	含	む	た	め	、	工	事	目	的	物	と	価	格	と	の	関	係	が	明		
ら	か	で	あ	る	。																				
④	積	上	げ	積	算	方	式	は	労	務	資	材	単	価	調	査	に	時	間	が	か	か	る		
う	え	、	積	算	自	体	に	も	時	間	を	必	要	と	す	る	が	、	ユ	ニ	ツ	ト	プ		
ラ	イ	ス	は	工	事	契	約	実	績	で	の	合	意	単	価	を	ベ	ー	ス	と	す	る	た		
め	、	価	格	調	査	が	不	要	で	あ	る	。	工	事	目	的	物	当	た	り	の	単	価		

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	部門
問題番号	H24_I-14	選択科目	科目
答案使用枚数	2 枚目 枚中	専門とする事項	

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

の	た	め	、	積	算	の	省	力	化	も	可	能	で	あ	る	。									
2	.	積	上	げ	積	算	と	ユ	ニ	ッ	ト	プ	ラ	イ	ス	型	積	算	の	課	題				
1)	積	上	げ	積	算	方	式	で	の	課	題													
①	施	工	者	に	よ	る	創	意	工	夫	の	導	入	が	十	分	に	で	き	な	い	:	発		
注	者	が	施	工	プ	ロ	セ	ス	を	想	定	し	積	算	を	行	う	の	で	、	工	事	で		
の	仕	様	・	施	工	手	順	・	作	業	内	容	が	細	か	く	示	さ	れ	る	。	受	注		
者	は	工	事	仕	様	に	示	さ	れ	た	と	お	り	に	施	工	す	る	こ	と	が	多	く	、	
創	意	工	夫	が	働	き	に	く	い	。															
②	変	更	時	の	契	約	協	議	が	難	航	す	る	場	合	が	あ	る	:	施	工	数	量		
が	増	減	し	た	場	合	に	、	変	更	額	が	不	明	確	に	な	り	や	す	い	。	ま		
た	、	施	工	条	件	で	示	さ	れ	て	い	な	い	条	件	が	起	き	た	場	合	や	、		
条	件	が	相	違	し	た	場	合	の	取	扱	が	明	瞭	で	な	く	、	変	更	協	議	が		
難	航	す	る	場	合	が	あ	る	。																
2)	ユ	ニ	ッ	ト	プ	ラ	イ	ス	型	積	算	方	式	で	の	課	題							
①	価	格	の	上	限	拘	束	性	の	存	在	に	よ	る	単	価	下	落	:	受	注	価	格		
実	績	は	常	に	予	定	価	格	よ	り	低	い	た	め	、	実	績	が	増	え	る	に	つ		
れ	単	価	自	体	が	下	落	し	て	い	く	こ	と	に	な	る	。								
②	施	工	条	件	と	の	乖	離	の	発	生	:	工	事	現	場	ご	と	に	異	な	る	施		
工	条	件	を	反	映	で	き	な	い	た	め	、	単	価	が	現	場	条	件	か	ら	乖	離		
し	て	い	く	お	そ	れ	が	あ	る	。															
③	実	取	引	価	格	と	の	乖	離	の	お	そ	れ	:	ダ	ン	ピ	ン	グ	契	約	や	談		
合	が	あ	っ	た	場	合	、	市	場	の	実	勢	価	格	と	の	乖	離	が	発	生	す	る		
お	そ	れ	が	あ	る	。																			
④	非	対	応	工	種	の	取	扱	が	煩	雑	:	ユ	ニ	ッ	ト	プ	ラ	イ	ス	に	対	応		
し	て	い	な	い	工	種	は	積	上	げ	積	算	と	な	る	た	め	、	積	算	が	か	え		

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24 字×25 字

